

花き卸市場のDX

2025/01/27

株式会社 なにわ花いちば

なにわ花いちばについて

- ▶ 大阪鶴見花き地方卸売市場に入場
(1994年、鶴見花きと2社入場)
- ▶ 取扱高196億円 (2023年12月)
- ▶ 西日本を中心に全国に販売
- ▶ 対面取引はなくオンライン中心

花き市場について

- ▶ 品目・品種が多い・細かい
- ▶ 生産者・小売店ともに小規模
- ▶ 仲卸と同時に小売店もセリに参加

課題・問題

- ▶ 花き生産の減少
- ▶ 物流に関する問題

オンライン化への経緯

- ▶ コロナ禍中で密を回避する（700席の過密）
- ▶ セリ場封鎖（2020/4/15）
- ▶ 人流は止めても商流は決して止めない
- ▶ リアルせりの補完サービスを活用（既存）
- ▶ 新しいセリシステム（2021/1/31）



オンラインせり



オンラインせりまでの流れ

段階	せり方法	せり時間	商品引取時間	課題
当時	せり場	月水金 6:30~	せり後 仕分完了後	超過密 営業停止の危機
せり場閉鎖 2020/4/15	せり動画配信 ・ 来場不要 ・ せり場過密解消	月水金 6:30~	せり後 仕分完了後	動画が不安定 来場時も渋滞
経過① 2020/7/30	せり動画配信	日火木 19:00~	月水金 5:30~ ・ 渋滞解消 ・ 早朝準備可能	動画が不安定
現行へ 2021/1/31	静止画 ・ システム安定	日火木 19:00~	月水金 5:30~	現物がみれない

買参人の声

- ▶ 市場にあわせて変えていく
- ▶ こんなものはせりじゃない
- ▶ 生きがいを奪われた
- ▶ コロナ禍に乗じて好き放題するな
- ▶ 市場だけ楽しやがって
- ▶ 二度とこない

買参人の声（現在）

- ▶ 現物がみたい→SNS等で積極発信
- ▶ 体が楽になった
- ▶ 計画的に仕事の段取りをとれるようになった
- ▶ 入札機能の活用
- ▶ セリ参加できるようになった（遠方）

市場のメリット

- せり時間の短縮
 - 時間効率向上→せり速度、トータル時間
- せり時間帯の人員削減
 - 産地や買参人のもとへ
- せり参加者の増加
 - リアルでは実現できない参加者
 - より広く遠くへ商圈の拡張
- せり前取引への効果
 - せり前取引参加も大幅増加
 - 交渉機能の実装→将来はAI活用へ

市場のメリット

➤ 24時間365日荷受け可能

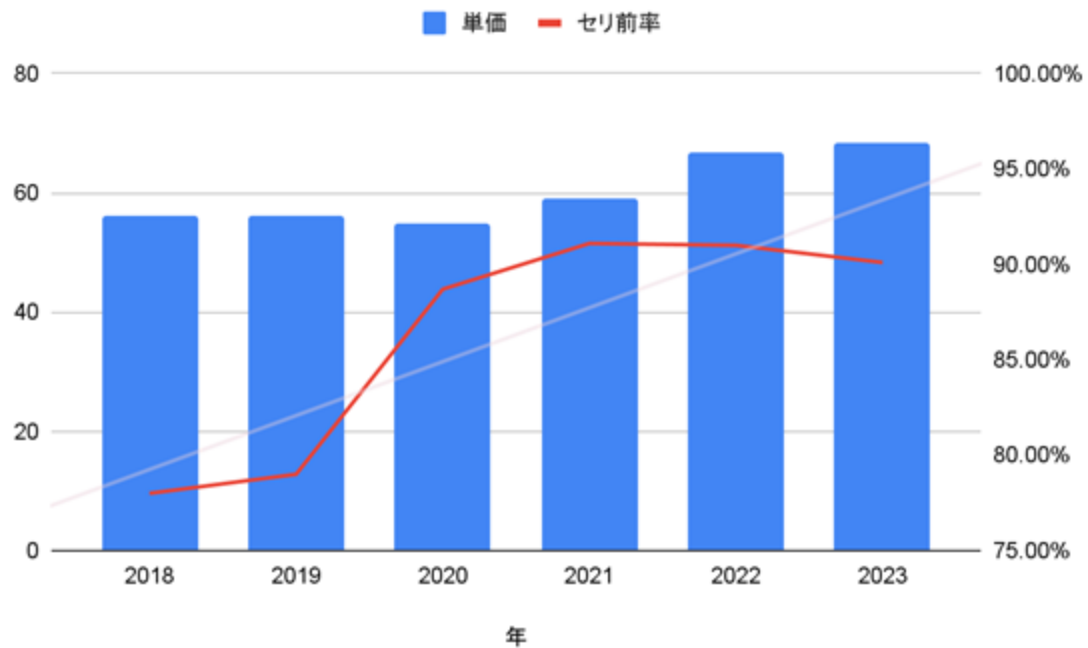
- 物流問題への対処
- 大阪フラワーサービス

➤ 社員への効果

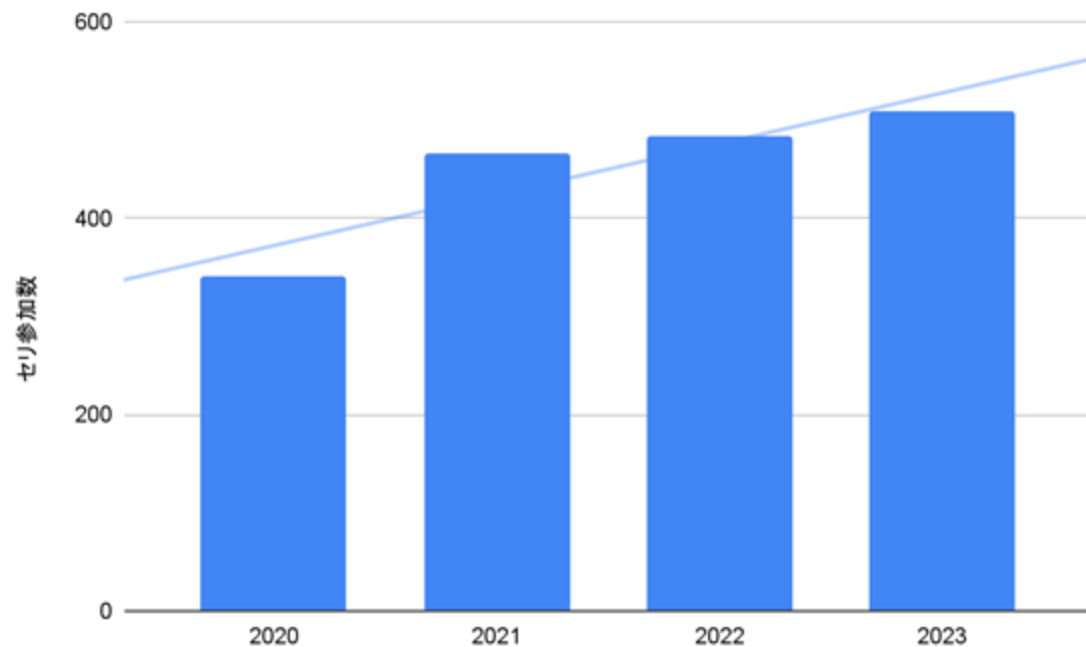
- 深夜・早朝勤務の削減→公共交通機関で通勤可能
- 若年層の離職率の改善（平均年齢37歳）
- 画像撮影を通じて目利きの育成

➤ 安定単価

セリ前取引



1 セリあたりの参加者（平均値）



取引方法の変化

導入前

セリ前

買参人：100～
取引率：70-
80%

セリ

セリ

買参人：300-500
取引率：20-30%

導入後

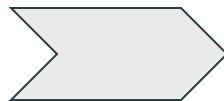
セリ前

買参人：500～
取引率：90%～

セリ

セリ

買参人：500～
取引率：～10%



単なるオンライン化ではない

- ▶ セリ中心（不安定）→セリ前中心（安定）
 - セリ前取引未経験者がほぼ参加
 - 価格の定められた商品を選ぶ抵抗感を無くした

※デメリット→ありません

今後にむけて

- ▶ 2025年1月システムリニューアル
 - より合理的で効率的なシステム
- ▶ 市場間連携の強化
 - 取引、物流、システム
- ▶ 生産振興と需要喚起
 - 市場がしっかりとマッチング
- ▶ 輸出
 - 英語版取引システム導入

日本花卸市場協会事業

・通常トラックが日帰りできる輸送距離は250～300km

